

長期基本計画審議会（第 12 回）で出された意見等の答申案への反映

	意見等	案への反映
答申案 P. 5	教育分野の「魅力ある学び支援」ビジョンの中で、「教員は研究に励み質の高い授業に努め」とあるが、研究だけでなく研修も大切であるため追加してほしい。	新たに開設した教育支援センターにおいても、研究、研修、相談の3つの機能を柱としており、教員が研修に励んでいる姿も重要であることから、「教員は研究・研修に励み質の高い授業に努め」という表現に改めます。
答申案 P. 8	「基本構想を実現するための方策」の中で述べられている「これまで行政が担ってきた公共サービスの民間開放や情報公開・ICT化を進める」という表現は、後述の「基本計画を推進する区政経営のあり方」の中の「経営の質の向上」という表現に改めて統一してほしい。	「ICT化と情報公開による業務革新と区民参加を推進するなど経営の質の向上を図る」という表現に改めます。
答申案 P. 8	【基本構想のイメージ図】について、基本構想の根底を貫く基本理念が左下にあり、かつ将来像・9つのまちづくりビジョンと離れているのは違和感がある。	基本構想の根底を貫くということと三角形の底辺に基本理念を位置付け、その下に少し離して「基本構想を実現するための方策」があり、頂点にある将来像の実現をめざす図に改めます。
答申案 P. 9	教育分野で「力」という言葉が多い一方で、「心」という言葉は一か所しか出てこないの、バランスをもう少し考えてはどうか。	「学ぼうとする力・学ぶ力・学び続ける力、豊かな心、健やかな体の育成」を「学ぼうとする意欲と学ぶ・学び続ける力、豊かな心、健やかな体の育成」という表現に改めます。
答申案 P. 9	教育分野で「個に応じた特別支援教育の充実」とあるが、特別支援教育に限定せず、個に応じた教育を推進してほしい。	特別支援教育に限らず、当然に教育全般において個に応じたきめ細かな教育を推進していく必要があります。誤解を招かないよう、「個に応じた」という表現は削除し「特別支援教育の一層の充実」という表現に改めます。
答申案 P. 9	教育分野で「地域の人材を活かした学校・家庭支援の促進」という表現では抽象的すぎる。パブリックコメントにあるように、大学生や高齢者といった例示を加えられないか。また、「家庭支援」という表現をもう少し工夫できないか。	「大学生や高齢者など地域の人材を活かした学校・家庭教育の支援促進」という表現に改めます。
答申案 P. 9	教育分野で、社会教育や生涯学習の充実も重要な施策の一つであり、そのことがもう少しわかるような表現を工夫できないか。	「ライフステージに応じた学習機会の充実と環境の整備」という表現を「ライフステージに応じた生涯学習の機会の充実と環境の整備」という表現に改めます。
答申案 P. 11	都市づくり分野で「駅周辺や商店街を中心にコンパクトなまちづくりの推進」とあるが、「コンパクトなまちづくり」という表現は単に規模を小さくするという意味にも捉えられる。表現をもう少し工夫できないか。	都市づくり分野の「あるべき姿」における表現を踏まえ、「駅周辺や商店街などを中心に快適に生活や移動ができる都市機能が集約されたまちづくり」という表現に改めます。
答申案 P. 11	都市づくり分野で「美しいまちなみ景観の推進」とあるが、「まちなみ景観」という表現に違和感がある。「まちなみ・景観」とした方がわかりやすいのではないか。	「まちなみ・景観」の場合、「まちなみ」と「景観」が並列するような印象があります。自然環境などの景観については、「緑と環境共生」ビジョンで触れており、都市づくり分野では、「まちなみの景観」を創出し、未来へつなぐ施策のあり方として、「美しいまちなみの景観の推進」という表現に改めます。